

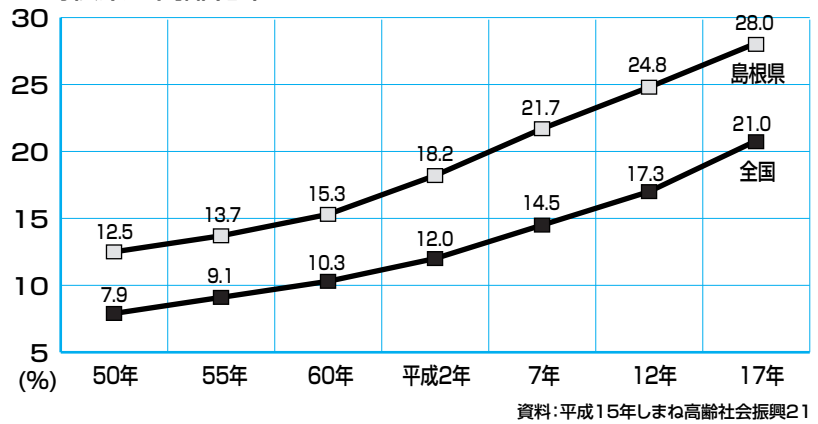
## 2. 高齢化と住宅内事故の実態

### 【島根県における高齢化の状況】 ●島根県の高齢化率

#### ①島根県の高齢化率

島根県は、高齢化率が日本で二番目に高い県です。  
今後もますます高齢化が進行していくと予想されています。

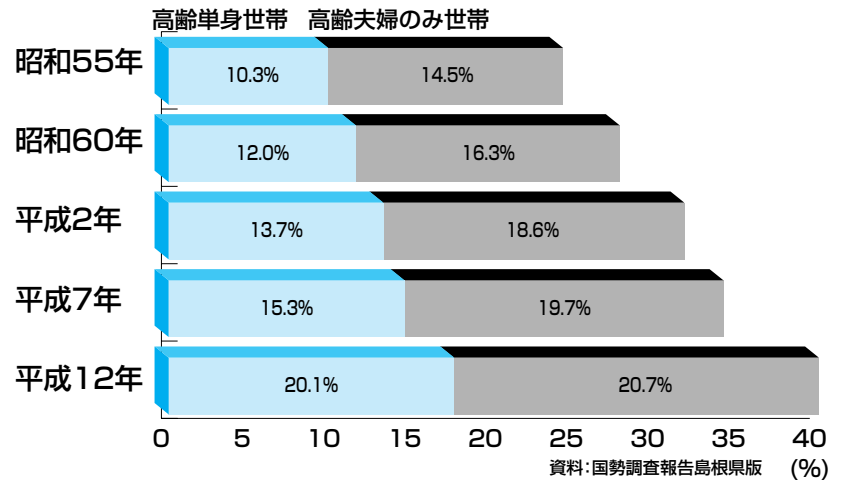
(高齢化率とは、全人口に対し65歳以上の高齢者が占める割合のことをいう)



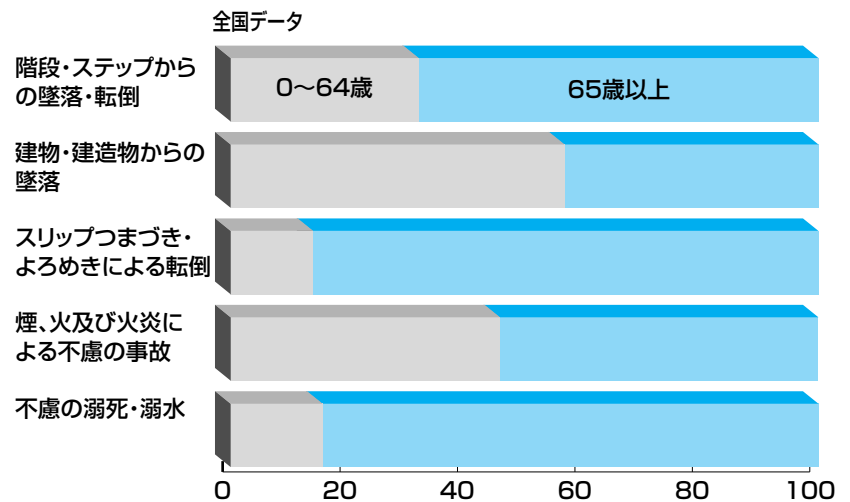
#### ●高齢者のいる世帯の内、高齢者のみの世帯割合

#### ②単身・夫婦のみ高齢世帯の状態

島根県の総世帯数のうち、高齢者がいる世帯が約4割を占めており、その内高齢者のみで生活している方も多くみられ、この割合は年々増加しています。



### 【住宅内における不慮の事故死】

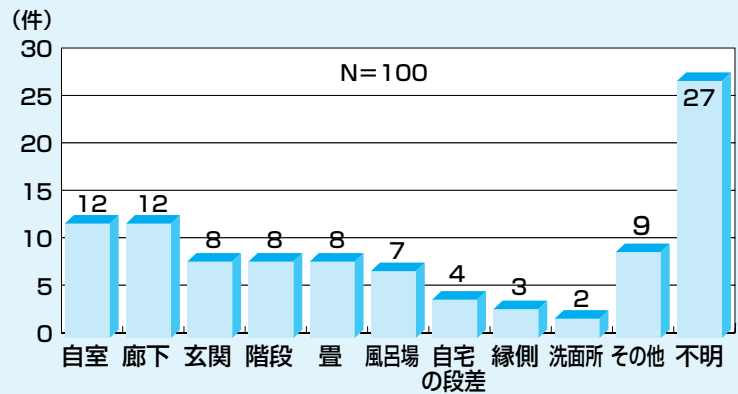
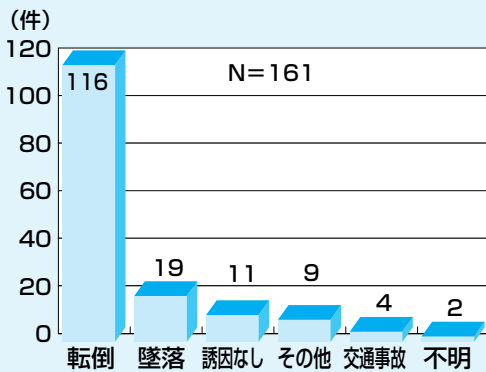


	0～64歳	65歳以上 (%)
階段・ステップからの墜落・転倒	138	295 (68.1)
建物・建造物からの墜落	217	166 (43.3)
スリップつまづき・よろめきによる転倒	138	841 (86.0)
煙、火及び火災による不慮の事故	566	672 (54.3)
不慮の溺死・溺水	503	2,752 (84.5)

資料：平成14年度人口動態調査

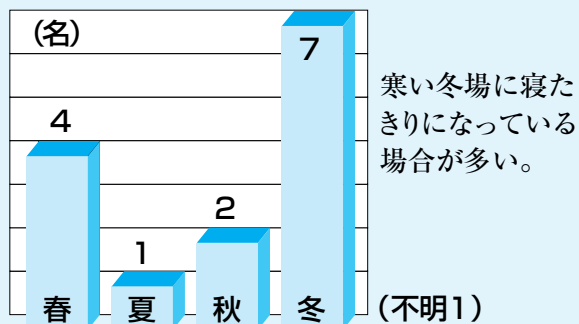
## 高齢者の寝たきりに関する調査結果 資料提供:玉造厚生年金病院 花田実医師

### ①住宅における事故(骨折)の発生原因・場所

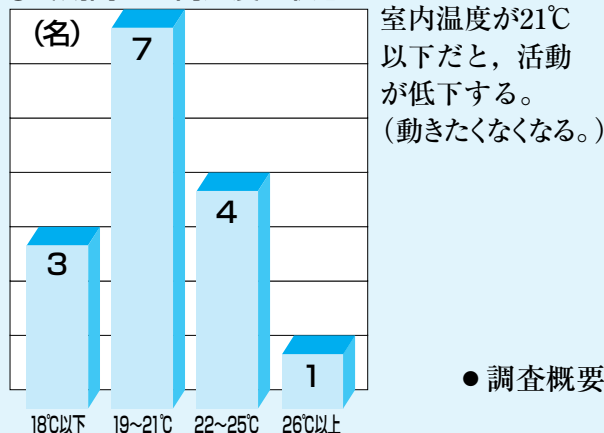


- 調査概要：昭和63年1月～平成5年5月の間に、骨折により玉造厚生年金病院に通院・入院した患者240名のうち自宅で骨折した患者を対象に、骨折原因・骨折場所などについて調査したもの

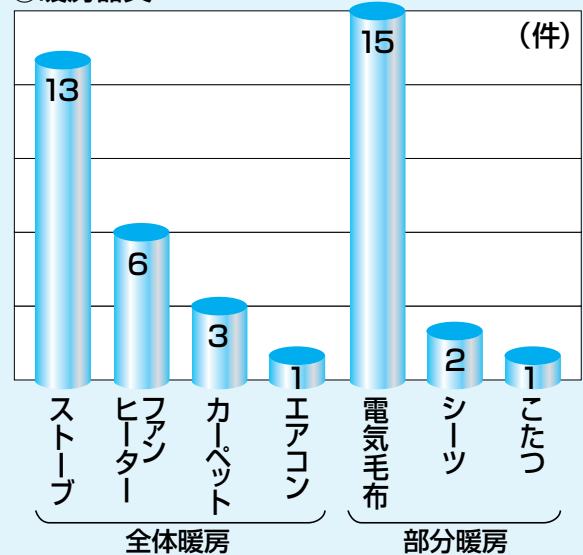
### ②寝たきりになった時期



### ④冬期間の室内温度の状態



### ③暖房器具



電気毛布などの部分暖房が多くみられ、部屋全体を暖房していない場合も多い。全体暖房のうちストーブは、危ないなどの理由により、常時使用は2名のみ。

- 調査概要：平成8年12月に県内A町において調査したもの (N=15)

多くの場合が、寒い部屋の布団の中でじっとしているために、寝たきりになっている。